

新規事業評価調書

事業名	都市計画道路 大阪河内長野線整備事業	
所在地	松原市天美東四丁目、天美東二丁目	
事業概要	目的	大阪南部地域を南北に貫く骨格軸となる主要幹線道路であり、大阪府道路整備長期計画において位置付けている東阪和軸を形成する路線のひとつである。また、阪神高速道大和川線、都市計画道路堺松原線へアクセスすることで、この地域の都市機能の向上を担うものである。
	内容	延長 0.5 km (都市計画道路堺松原線～府道大堀堺線) 幅員 35.0 m 道路区分 第4種第1級 4車線道路
	事業費	約37億円 (内訳)用地費 約30億円 工事費 約7億円
	維持管理費	約3.0百万円/年(約6百万円/km・年)
	関連事業	阪神高速道路大和川線整備事業(阪神高速道路公団施行) 都市計画道路堺松原線整備事業(大阪府施行)
上位計画等の位置づけ	大阪府道路整備長期計画 大阪府都市基盤整備中期計画(案)	
優先度	本路線は現在整備が進められている都市計画道路堺松原線及び、阪神高速道路大和川線へのアクセス道路であり、府道大堀堺線とネットワーク形成を図ることで、大阪南部地域の著しい東西方向の交通混雑緩和が図られ、また三宅西ランプ及び天美ランプへ接続することから、流通機能等が向上し、この地域の活性化に寄与することから、本事業予定区間の優先度は非常に高い。	
事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	平成15年度 道路予備設計等事業認可取得に向けた準備 平成16年度 事業採択、事業認可取得、測量・設計、用地買収 現在、この周辺の耕地を対象とした面整備計画があり、三宅地区を先行に松原市と地元で事業実施に向け、鋭意取り組んでいる状況である。その中で本路線沿道についても、将来構想に整合する地区計画などの規制誘導方策を検討しているところである。
	完成予定年	平成22年度完成目標

事業目的に関する諸状況	周辺道路の状況	
	東西方向幹線道路	南北方向幹線道路
事業を巡る社会経済情勢	府道大堀堺線 混雑度 1.26(平成6年度) 1.27(平成9年度) 0.96(平成11年度)	府道大阪狭山線 混雑度 0.99(平成6年度) 0.92(平成9年度) 0.82(平成11年度)
	府道堺大和高田線 混雑度 1.56(平成6年度) 1.67(平成9年度) 1.54(平成11年度)	国道309号 混雑度 1.02(平成6年度) 0.88(平成9年度) 0.84(平成11年度)
地元等の協力体制	関連事業	
	<ul style="list-style-type: none"> 阪神高速道路大和川線 事業主体：阪神高速道路公団 延長：10.8km 平成22年度完了予定 都市計画道路堺松原線 事業主体：大阪府 延長：2.2km 平成22年度完了予定 松原市北部地域開発計画 天美・三宅地区の市街化調整区域(60ha)を対象とし、組合施行による土地区画整理事業を検討 三宅地区については平成14年7月に「松原市三宅地区まちづくり協議会」を設立 	
本路線について地元市から毎年早期整備要望がなされている。		

事業効果の定量的分析	費用便益分析	具体的な便益内容	受益者	費用便益比	備考
		走行時間短縮便益 走行費用減少便益 交通事故減少便益 環境改善便益	通行車両 歩行者 自転車等	$B/C = 1.57$ 便益総額 B = 約 49.7 億円 総費用 C = 約 31.7 億円	
	その他の指標 (代替指標)				
事業効果の定性的分析	安全・安心	歩行者等の安全性の向上 (都)堺松原線から周辺の狭小道路へ流れ込む交通が抑制され、周辺道路における歩行者等の安全性が向上 通行車両の安全性の向上 周辺の道路は狭小であり、本路線の整備により(都)堺松原線からの交通が円滑に処理されるため、通行車両の安全性が向上 緊急車両の通行 本路線の整備により、円滑な緊急車両の通行ができる。			
	活力	交通連携機能拡大・土地利用の促進 阪神高速道路大和川線(三宅西ランプ・天美ランプ)へのアクセスが可能になることから、流通機能の向上が図られ、地域の連携・発展に寄与する。			
	快適性	渋滞の緩和 府道大堀堺線とネットワーク形成されることから、大阪南部地域(特に河内天美駅周辺)の交通渋滞の緩和に寄与する。			
	その他				

自然環境等への影響と対策	自然環境 現況：田畑部(供用後：市街地)を通過する道路(区間)であり、歩道部に植樹帯を設け、緑を復元します。 沿道環境 歩道を設置することから、住居と車両通行部の離隔ができ、植樹帯等を歩道に設置することにより沿道環境への影響を緩和する。
	松原市域で阪神高速道路の天美ランプ、三宅西ランプへ直結する道路は本路線のみである。
代替案との比較検討	
その他特記すべき事項	